

# 看護ズ介護の現場から

松本市四賀在住 NPO法人峠茶屋  
訪問看護ステーション管理者 江森けさ子

## 第3回 (最終回)

### お墓参り

今年も猛暑だったこともあってか、初秋に舞う赤とんぼが少ないように思う。  
峠茶屋が経営する住宅型の住まい「にしきの丘」に入居している秋さんの、東京に住む娘の婿さんから、「義父の3回忌なのだが、こんな時世なのでどうしたもんか」と相



江森さん提供のイラスト

談を受けた。

GoToトラベルも東京が解禁になったし、ささやかでも思ったが、95歳超高齢の秋さんにとつて、県外者との接触を禁じている施設として、やむを得ず取りやめることにした。

その代わりにお彼岸のお墓参りを計画した。

秋さんが自宅を去って3年目を迎えた。家に向かつて刈谷原宿の街並を車でゆっくり走った。

「ここはお医者様の家だね」「松屋だわ」と次々と嬉しうに屋号が出てくる。

顔見知りか声をかけてくれた。「元氣そうだね」と言われても極度の難聴と、数年合っていない人の顔は分からず、私が通訳をする。「アラーやだーおばさんかね」

とまた微笑む。会話はこれ以上は進まなかった。自宅近くにある墓地に向かった。草が茂り道は分からず、坂道は草に手を掴み這い上がった。

墓碑の前で、刻まれている人の名前を読み続けた。そして、持参したわが家の畑に咲いていた百日草を花器に挿し手を合わせた。秋の日差しを受けて穏やかな時間が過ぎた。

秋さんは認知症と診断されグループホームに入居したが、穏やかで困ることはなかった。症状の激しい方がグループホームに入居を希望されていたため、秋さんは同じ法人の住宅型の施設に居を移した。

入れ歯が合わず咀嚼が出来ず体重が減り始めて心配したが、歯が無くても食材が噛み切れるようにし、時間をかけて召し上がっている。合わない入れ歯より無い方が食事が進み、体重も増えた。食材が何か分からないミキ

サー食にする必要もなかった。

針仕事得意で、眼鏡なしで材料を用意すると仕上がるまで続ける。秋さんは他者からの影響を受けず、Going my wayで平和に暮らしている。

江守さんに3回にわたって原稿を書いていただきました。江守さんは各地で「認知症」の講演会を行い、個人の相談にものっています。

機会があつたら松本市四賀の「グループホームすみか」や「デイサービス峠茶屋」へ伺いたいと思っています。ありがとうございました。

ファンクラブ役員一同

## 「あづみの里裁判」記事の感想

あづみの里裁判勝利、本当に嬉しかった。

判決で注目したのは、「窒息の危険性を否定しきれないからといって食品の提供が禁じられるものではない」「身体的リスクに応じ幅広く様々な食物を摂取することは人にとって有用かつ必要である」と述べ一審判決後に食事提供

などで委縮が広がりがつつある介護現場に配慮したこと。死因は言及されなかったが、今回の件で個人の刑事責任を問うのはあまりに皆さんの検察の立件と論理の飛躍があったと思う。検察の猛省を求めたい。

「実家の茶の間代表」  
(曾根原鈴美)

## 部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)  
議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)  
編集責任者 服部 久子 (62-4357)  
山本 久子 (61-1066)

日本共産党  
池田ファンクラブ・ニュース  
あした天気にな〜れ

227号  
2020年9月



安民法制の強行採決から5年

## 菅内閣発足 安倍政治の「負の遺産」を一掃し 政治の根本的転換を!

安倍首相の突然の辞任表明は直接的には「健康上の問題」ですが、政権には内政・外交・新型コロナウイルス感染症対策での深刻な行き詰まりがありました。

内閣支持率も大幅に低下し、これ以上継続困難と判断したものとされます。安倍劇場と揶揄される辞任劇の中で、内閣支持率は50%以上(世論調査)にアツプしましたが、個々の政策に対しての支持率は低いまま変わっていません。

第2次安倍政権の7年8ヶ月の軌跡はどうだったか。歴代内閣が憲法上、許されないとしてきた集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、安民法を成立させました。

特定秘密保護法や共謀罪など、世論を無視して強行採決する、国会審議が不十分でも強引に可決するなど、憲法と民主主義を踏みこむものでした。

「安倍一強」を背景にした政治は与党を政権の追認機関にさせただけか、官邸の意向を付度し絶対視する官僚を生み出し公文書の改ざん、隠蔽も相次ぎました。

国政を私物化し、新自由主義

## 文芸欄

皆様からの投稿を掲載しています。

### 俳句

- 散策に 黄金の穂波 秋長けし 武
- 炎昼の ライダー還暦 超えており 美ちこ
- 国会の 国民無視や 秋の風 邦夫



## コラム 有明

日本共産党は新自由主義からの転換を野党共闘の旗印にすることを訴えている。

合流新党の代表となった枝野幸男氏も「新自由主義的な方向は間違っている。違う社会をつくっていく」ということは今回の綱領で明確になっている」と新自由主義との決別を表明した。

新自由主義は経済を市場万能、規制緩和、大企業のもうけ最優先に、社会保障を切り捨て、自己責任を強いる考え方だ。コロナ禍でも効率と財政重視で保健所数が削減され患者の検査、手続きなど初期対応に大きな遅れをきたしたことは記憶に新しい

▼新自由主義が特に顕著になったのは小泉内閣で竹中平蔵氏が経済財政政策担当大臣に就任した頃からと思われる。「郵政民営化」は記憶に新しい▼菅首相はこの竹中氏を入閣させたかったようだが派閥や長老の抵抗にあつて実現できず「こんなはずじゃ…」とぼやいたという話も伝わっている。新自由主義を継承するか否か選挙の大争点だ。